

取組名称：時代が求める新たな教養教育の京都三大学共同（モデル）推進事業
取組大学：京都府立大学（代表校）、京都工芸繊維大学、京都府立医科大学

社会の枠組みの急激な変化や東日本大震災・原子力発電所の事故により、人間の生き方、あり方もその根幹から見直しを迫られている。そのような時代の転換点にいるという認識を踏まえ、京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の国公立三大学は、本事業を活用して教養教育の共同化を行うことにより、「新しい時代の要請に応じた教養教育カリキュラム」の完成を目指す。そして、それぞれの大学の特徴・強みを生かしたカリキュラムを提供することにより、学生の多様な関心・教育要求に応え、総合的に物事を観察し的確に判断できる能力と豊かな人間性の涵養を図る。実施に当たっては、「三大学教養教育研究・推進機構」を設置し、「学部、大学の垣根を超えた学際的科目」の研究・開発や教育課程の改革サイクルの確立・学修の質の保証を図る。さらに、「現代の大学教育において求められる教養教育」についての提言を行うなど、社会への発信を行う。

京都三大学 教養教育共同化による「新しい時代の要請に応じた教養教育」の実践

